区民の皆様からのご意見・現地視察・先進事例からの学び・区の所管課からの説明などから、台東区政に活かしていける施策や事業を検討。本会議での質問や、各委員会の審議、会派の政策要望などを通じて提案してまいりました。この４年間で区長や教育長への質問機会は、代表質問２回・一般質問４回、決算・予算特別委員会の総括質問５回。この他毎年度 11 月に会派として政策要望を行い、多くの提案が台東区で実施されています。今後も区民サービスの充実に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

3期目の4年間（令和元年～4年）に早川太郎の提案で実施されたこと

▶代表質問・一般質問で提案

①早期のタブレット端末配備など ICT 教育の推進（2 年第 1 回定例会 代表質問）
②マルチペイメントの導入（2 年第 1 回定例会 代表質問）
③RPA の導入促進（2 年第 1 回定例会 代表質問）
④テレワークの推進（2 年第 2 回定例会一般質問）
⑤こどもクラブや児童館の Wi-Fi 環境の整備（2 年第 2 回定例会一般質問）
⑥長期総合計画の見直し（2 年第 2 回定例会 一般質問）
⑦こどもクラブや放課後子ども教室の緊急整備計画の作成（4 年第 2 回定例会 一般質問）　・・・など

▶委員会の審議で提案

①大規模用地を活用した特別養護老人ホームの再整備（平成 28 年決算総括）
②防災アプリの充実・強化（風水害対応や町会名表示などの機能追加）（2 年決算総括）
③保育ソーシャルワーカーの導入（2 年決算）
④情報格差の解消（デジタルデバイド対策）（2 年決算）
⑤企業へのキャッシュレス化推進（2 年決算）
⑥リフレッシュなどの目的で利用するベビーシッターの導入（3 年予算）
⑦清島温水プールでのベビースイミングの実施（3 年予算）
⑧コロナ後遺症相談窓口の設置（3 年決算総括）
⑨保育園等へのデジタル化推進（3 年決算総括）
⑩コロナ感染再拡大に備えた保健所体制の整備（3 年決算総括）
⑪BPR による業務改善の推進（3 年決算総括）
・・・など

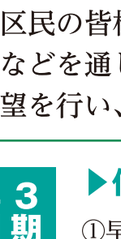
▶会派の政策要望で提案

①オープンデータの拡充・アイディアソンの開催（3 年度に向けた政策要望）
②産後ケアの拡充（「デイサービス型」「アウトリーチ型乳房ケア」の支援を拡充）（3 年度に向けた政策要望）
③ICT 活用の検討を含めたフレイル予防対策を充実（3 年度に向けた政策要望）
④子ども・若者総合支援施設の整備（3 年度に向けた政策要望）
⑤フードハントリー実施団体への助成（4 年度に向けた政策要望）
・・・など

太郎のちょっとひと言 Vol.2

２期目に実施された提案は。

①区有施設の省電力型照明整備（平成 25 年決算総括質疑）
②耐震改修助成制度の上限額引き上げ（平成 27 年一般質問）
③HUG（避難所運営ゲーム）や、DIG（災害図上訓練）などの状況付与型訓練の実施（平成 27 年一般質問）
④ファミリーサポート・センターの預かり事業における区有施設の利用（平成 27 年一般質問）
⑤台東区防災アプリの実施（平成 28 年決算質疑）
⑥ペーパーレス化の推進（保管・保存文書の電子化・タブレット端末を管理職等に導入）（28 年一般質問）などでした。



台東区議会議員

早川太郎

令和元年～４年 区議会活動ダイジェスト

今後の政策課題

未来につなぐ！　行政改革の推進

①物価高騰への対応強化（燃料費・食材費への緊急応の継続、セーフティーネットの充実、助成事業の制度変更）
②子育て世帯の転出超過に歯止めをかける人口バランス是正に向けた施策の推進
③ ICT などを活用した行政の効率化の推進（BPR、RPA、電子申請の拡充）
④「地域や区民の課題解決」に向けた DX（データの利活用や情報連携）の推進
⑤ 区有施設の適正化でニーズの高い施設整備や利便性の向上を推進

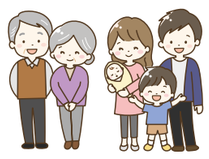
※1 BPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)
業務本来の目的を達成するため、既存の組織や制度、業務の内容や手順等を抜本的に見直し、再構築すること。

※2 RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
人間がPCで行う定型業務をAI等により自動化するソフトウェアロボットのこと。

安全安心な「まちづくり」

①都市間の災害時応援協定の促進
②在宅避難者への支援体制の充実
③福祉避難所の充実、福祉避難所マニュアルの整備促進

台東区議会議員 早川太郎
詳しい内容は‼
ホームページに掲載中



子どもや高齢者にやさしい「まちづくり」

①誰もが子育てしやすい保育サービスの充実（産休育休明け年度途中でも入園できる保育体制の充実）
②教育・保育現場のサポート体制の充実（学力推進向上ティーチャーや特別支援教育支援員などの人員確保に向けた対策の強化）
③授業だけではない国際教育の充実（ALT の充実、オンライン活用による海外の子ども達との交流、海外短期留学派遣の拡充）
④区内集会施設などを活用した幼児体操教室の拡充
⑤高齢者の健康維持やふれあいの場を充実（対象の拡大や回数の見直しによるふれあい入浴事業の拡充）
⑥ICT を活用したフレイル予防対策やデジタルデバイドへの対応の充実
⑦障害者の施設やサポート体制の充実
⑧医療機関と介護の間の連携強化など、より効果的、効率的な医療・介護のサービス提供体制を構築（訪問診療や往診体制の充実、地域包括ケア推進のための医療・介護関係者間での電子カルテの整備など）

※3 ALT(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)　外国語を母国語とする外国語指導助手

視察

先進事例を学んだり、現地を視察したりすることで台東区の施策に活かしてきました。

●文京区教育センター

療育と教育支援、子どもの居場所などを一体的に運営している総合施設。現在、子ども・若者総合支援施設である（仮称）北上野二丁目福祉施設の整備計画が進んでいます。データ活用・情報連携など課題解決に向けて令和４年第２回定例会の一般質問にて、提案。

●幼児運動教室

ニーズに応えられるだけの事業を展開できておらず、地域偏在の課題もあり、現地を視察することに。課題解決に向けて令和４年第４回定例会の一般質問にて、提案。
・リバーサイドスポーツセンター
・たなかスポーツプラザ
・柳北スポーツプラザ

生き生き暮らせる「まちづくり」

①子育て世帯の定住促進に向けた北部地区リノベーション型まちづくりの推進
②新たな産業を育む創業支援施設の整備
③地球にもやさしく！　スマートエネルギーの推進（区有施設における創エネの推進）
④民間活用によるデジタルバリアフリーマップの利便性向上
⑤ボール遊びのできる施設の拡充、隅田川を活かしたランニング環境の整備